

登録コード	J9020105	開講年度	2026				
授業科目	新入生ゼミナール					担当教員	廣瀬 要輔
英文授業名	Fresher's Seminar					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学年	経：1年
講義室				授業区分	演習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済 【2020年度以降対象】専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして，経済理論の応用分野として，金融，公共政策，法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。 ・本を正確に読み、その内容を整理し、成果を人に伝えることができるようになる。 ・グループワークによって、仲間と協力しながら社会問題の現状と課題をリサーチし、その結果を人に伝えることができるようになる。						
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	新入生ゼミナールでは、各担当教員の指定した教科書を用いた、輪読形式の講義を行います。事前に各自で教科書の内容について予習を行った上で、当番の人が全員を代表して、予習した範囲の内容について解説と、他の参加者からの質疑に対して応答を行います。参加者全員で同じ本を読み進めながら互いの意見や解釈を議論し合う事で、論理的な本を誤読せず読み通す能力、理解した内容を他人にわかりやすく説明する能力、著者の見解に対して批判的にコメントする能力を培います。						
(5)授業計画	第1回目の授業で詳しい予定についての資料を配布します。授業全体の概要は以下のとおりですが、クラスごとに進行は若干異なりますので、第1回の授業に必ず出席し、説明をよく聞いてください。なお、統計データ活用や研究倫理教育に関する講義などを、学科合同で予定しており、通常とは別の教室で行う場合があります。事前のメール連絡や日程表等で確認してください。 1．講義内容ガイダンス 2．各種研修（例：統計データ・研究倫理など関する共同講義） 3．担当者による発表（プレゼンテーション）および討論 4．第15回目に授業アンケート実施						
(6)成績評価の方法	【授業の達成目標】の1の達成度を測るために、（最低限5回分の）授業内での発表・提出物（80％）で評価する。また【授業の達成目標】の2の達成度を測るために、授業内での質疑応答（20％）も評価対象とする。						
(7)成績評価の基準	授業計画に示した報告およびクラスにおける討論等の貢献度によって評価します。具体的には、下記の4つの観点から評価します。 (i) 本の内容を自身が正しく理解できている。 (ii) 他者に対して、本の内容を分かりやすく（自分の言葉）で説明できている。 (iii) 質疑応答が適切に行えている。 (iv) その上で自分の見解を提示できている。 (i) から (iv)の4項目を満たし、かつ教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」、(i) から (iv)の4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」と判断します。						
(8)事前事後学習の内容	「授業計画」で記載したとおり、担当箇所の報告を行うことが求められますので、授業時間外でも文献の予習、発表の練習などを計画的に進めることが重要です。また、説明のためのレジュメやスライドなどを事前に準備することも必要になります。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・対象となるのは経法学部応用経済学科の1年生です。新入生ゼミナールの内容は、2年次以降の専門学習の基礎になるので、必ず履修してください。 ・各自が指定された教員のクラスで受講してください。各クラスの担当教員が、後期半年間の修学指導の担当者になります。欠席する場合は必ず事前に担当教員に理由を添えて連絡してください。 ・グループワークは、他の人の意見によって視野を広げたり議論を深めることに意味があります。他の人から意見をもらうためには、自分が他の人に対して積極的に意見を述べる必要があります。ゼミ参加者には積極的な発言によって他の参加者およびゼミに貢献することを求めます。 ・演習形式の授業のため授業のすべてに参加するのが原則です。 ・無断欠席、正当な事由のない欠席は、それだけで「不可」の対象となります。 ・やむを得ず欠席しなければならない場合は、その事由がわかった段階で、必ずクラス担任の先生に電子メールで「事前連絡」を行ってください。 ・上述したように本ゼミナールは、前期開講の新入生ゼミナールとの連続型授業です。新入生ゼミナールのシラバスも併せて読み、1年間を通した授業予定を頭に入れておいてください。						

(10)質問,相談への対応	欠席連絡・質問・相談はクラス担当教員へメール等で行なって下さい。 各担当教員の連絡先は、「経法学部履修案内」記載の名簿を参照してください。
【教科書】	各担当教員の指示にしたがってください。
【参考書】	大竹 文雄, 行動経済学の使い方, ISBN:978-4-00-431795-1, 岩波書店, 2019年. 伊藤 公一朗, データ分析の力 因果関係に迫る思考法, ISBN:978-4-334-03986-8, 光文社, 2017年. 坂井 豊貴, マーケットデザイン 最先端の実用的な経済学, ISBN:978-4-480-06734-0, 筑摩書房, 2017年. その他、授業中に適宜紹介します。